

射水市立大門小学校活動報告

◆介護施設で花を育てよう大作戦

思いやり委員会の児童17名が6月11日に特別養護老人ホーム「こぶし園」を訪問し、夏に利用者の方が楽しめるように、施設屋外でひまわりの種を植えました。児童が種を植えている様子を利用者の方に見てもらったり、その後挨拶をしたりするなどして交流しました。また、7月には水やりにも伺い、その時も挨拶をして交流し、利用者の方に「また、来てくださいね。」と、喜んでもらうことができました。また、交流を続けるために学習の発表会にも招待し、笑顔でお出迎えや案内をしました。



【種を植える児童】

◆思いやりすごろく

思いやり委員会の児童が、1月30日から1週間、全校のみんながたくさんのぼかぼか言葉を使って、笑顔あふれる大門小をつくろうというめあてをもち、思いやりすごろくを企画しました。毎朝、日直が思いやり言葉の書いてあるサイコロを振り、出た言葉をクラスの2/3以上の人が使えたらすごろくを進めてゴールを目指すという活動です。「意識してぼかぼか言葉を使って、優しい気持ちになりました。」「ぼかぼか言葉がいっぱいでうれしかったです。」という振り返りが多く見られ、ぼかぼか言葉があふれるよいきっかけになりました。



【利用者さんを出迎える児童】

◆児童会によるアルミ缶回収

児童会が全校児童に呼びかけアルミ缶回収を2回行いました。児童会の児童は、回収したアルミ缶を潰す機械に入れて圧縮し、業者へ渡す準備も行いました。児童達で企画・運営し、その収益で扇風機や冬遊びに使うトランプ等を購入しました。児童達は、「自分達の呼びかけで、自分達が使うものを購入できてよかった。」と活動を振り返っていました。



【アルミ缶回収をする児童】

◆赤い羽根共同募金・書き損じハガキ回収

思いやり委員会の児童17名により、全校児童に赤い羽根共同募金、書き損じハガキ回収の活動を呼びかけました。委員会の児童がそれぞれのお知らせを作り、各クラスへ配布しに行きました。回収期間には、「協力ありがとうございます。」と声をかけながら、手渡しで受け取りました。助け合いの精神が広まっていきました。



【募金を受け渡す児童】

◆最後にひとこと

本校では、上記の活動の他に、生活・安全委員会が中心となる挨拶運動や、夏休みの「早朝親子奉仕活動」等の様々な取り組みをしてきました。また、3年生がサクラマスの放流を、5年生が米作り体験を行うなど、自然保護活動も毎年行っています。活動を行うと地域の方へ感謝の手紙を書くなどして、感謝の気持ちを伝えています。これからも、児童の思いやりの心やボランティア精神を育てていけるように、様々な活動に取り組んでいきます。